

平成26年度事業計画



社会福祉法人奥州市社会福祉協議会

社会福祉法人奥州市社会福祉協議会の基本理念（ビジョン）

だれもが心の豊かさと幸せを実感できる

「福祉のまち奥州市」をめざして

新たな福祉のまちづくりにあたっては、だれもが「この地域に住み続けたい」願いをかなえるため、市民一人ひとりのふれあい、ささえあい、たすけあい、わかちあい、かたりあいの輪をひろげ、みんなが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」をつくります。

1. 市民の福祉に対する願いに応え、「みんなと交わる」ことを大切にしながら、親しみに満ちた福祉活動をめざします。
2. 市民の福祉に対する関心を高め、「みんなとともに楽しむ」ことを大切にしながら、市民参加による福祉活動をめざします。
3. 市民の福祉に対する理解を深め、「みんなのために役立つ」ことを大切にしながら、よりよい自立に向けた福祉活動をめざします。
4. 市民の福祉にかかわる活動をしている人たちと手を結び、「みんなのための福祉」のあるべき姿を考え、市民の信頼に応える福祉活動をめざします。

平成17年10月12日制定

平成 26 年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会事業計画

1 基本方針

平成 25 年度は「だれもが心の豊かさと幸せを実感できる福祉のまち奥州市をめざして」を基本理念とし、住み慣れた地域で安心して生活できるようご近所福祉スタッフ等による見守り、ささえあいの会による家事援助や生活援助、住民支え愛マップづくりなど小地域福祉活動の支援や住民同士による支え合い態勢の基盤づくりに取り組んできました。

今年度も引き続き身近な地域で見守る仕組み、地域住民が互いに支え合う仕組み、地域の課題を掘り起こす仕組みとして、小地域福祉ネットワーク推進事業、ふれあいいきいきサロンござえん茶、要援護者台帳整備事業、緊急時への備えとする災害時要援護者避難支援計画（市民たすけあい行動プラン）策定事業、住民支え愛マップ事業等の小地域福祉活動を推進します。

また、新たに、安心生活基盤構築事業を受託し、孤独死や虐待が発生しない地域づくりを目指し、住民参加により地域において抜け漏れのない実態把握と支援を実施する取り組みや法人後見の実施に向けた取り組みを進めていきます。

発災から 3 年が経過した東日本大震災の被災者支援、災害復興支援活動は、登録制少人数派遣型の奥州市沿岸支援隊（奥援隊）や地域団体、住民単位での派遣活動として継続するほか、奥州市内で生活している被災世帯に対し、関係機関と連携して、生活に必要な相談・見守りを行います。

また、奥州市の高齢化が進行する中、本会の提供する介護サービスを充実させるため、昨年新設した介護保険事業統括制度に基づき事業の効率化、安定化を図り、地域に密着した事業経営に取り組むとともに、これまで構築してきた互いに助け合い・支え合う小地域でのつながりを基盤とし、近隣の方やボランティアの協力と関係機関との連携により、住み慣れた地域で暮らし続けたいという願いが叶う福祉のまちづくりを推進していきます。

2 重点項目

- (1) 小地域福祉ネットワークやふれあいいきいきサロン等の住民支援活動の推進
- (2) 家事・軽介護サービス「ささえあいの会」の推進
- (3) 安心した生活を創造する地域づくりの推進
- (4) 東日本大震災被災者支援の継続
- (5) 介護保険事業における介護サービスの充実と効率化の推進

平成 26 年度社会福祉法人奥州市社会福祉協議会の主な事業内容

1 法人運営

No.	事項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内容
1	三役会議、理事会、監査会、評議員会	本所	会費 寄附金	6,000	定款に基づく次の会議を開催し、社会福祉協議会の健全な運営と地域福祉活動の推進に向けた取り組みを協議決定します。 * 三役会議 会長、副会長、常務理事、事務局長において法人業務執行を行います。 * 理事会 15人で構成。法人業務の決定を行います。 * 監査会 3人で業務執行状況、法人の財産状況の監査を担当します。 * 評議員会 40人で構成。法人の議決機関、予算・決算、定款変更、事業計画及び事業報告の議決を行います。
2	部会・委員会等の開催	本所	-	-	部門ごとの部会と事業推進に必要な委員会を設置し、専門的な事項について、会長の諮問に答え、意見を具申します。 また、小地域福祉ネットワーク活動やふれあいいきいきサロン等、地域福祉推進事業のありかたや社協事業の検討をしていきます。 * 部会：総務部会、地域福祉部会、在宅福祉部会 * 委員会：ボランティア・市民活動センター運営委員会、職員人事委員会等
3	役員研修・職員研修の実施	本所 ・ 各区	会費 寄附金	260	地域福祉事業を効率的かつ適正に行うために、社協の役職員としての使命感や資質の向上、各職務に必要な専門知識の習得と技術向上を図るため実施します。 * 役職員研修会の実施 * 職場内研修の取り組みの推進
4	財務経営管理	本所	-	-	財政状況が厳しい折、事業の優先度を定め適正かつ効率的な事業運営と財務経営管理に努めます。
5	福祉サービス 苦情解決事業	本所 ・ 各区	会費 寄附金	92	本会が提供する地域福祉事業等における苦情への適切な対応を図ることにより、利用者が福祉サービスを適切に利用できるように支援すると共に、苦情の円滑・円満な解決の促進及び本会の信頼並びに確実性の確保を図ります。 * 第三者委員(6人)を設置 * 事業所ごと苦情解決責任者を設置し苦情受付担当者を任命 * 福祉サービス運営適正化推進会議や苦情解決研修の実施
6	地域福祉推進協議会や地区振興会等自治会との協働による事業推進	本所 ・ 各区	-	-	市内の区域ごとに総合的な地域福祉の充実と発展に関すること、事業推進の評価に関すること、福祉の諸課題等の発見及び解決に向けた方策に関することを協議し、地域の福祉活動を市民の参画を得ながら推進していきます。 * 三役・地域福祉推進協議会委員長合同会議の開催 * 振興会等の自治組織との協議・事業推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
7	共同募金運動 への協力	各区	-	-	地域福祉活動の重要な財源である共同募金事業への連携協力を図ります。 * 罹災者支援事業 共同募金配分金により、罹災者に対する支援活動に協力します。 災害等支援活動／災害見舞金の交付

2 活動拠点(福祉センター等)の運営

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
1	総合福祉センターの経営	本所 ・ 水沢 ・ 胆沢	補助金 利用料	13,752	市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を推進するための活動拠点として設置運営します。 * 奥州市総合福祉センター(総務企画課・地域福祉課・水沢支所) * 胆沢総合福祉センター(胆沢支所)
2	江刺総合コミュニティセンターの経営	江刺	指定管理 料	29,126	奥州市の指定管理を受け、市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を推進するための活動拠点として活用し、適切な管理運営に取り組みます。 * 江刺総合コミュニティセンター(江刺支所)

3 地域福祉活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
1	福祉活動推進 員設置事業	全区	会 費 寄附金	332	市内の行政区単位に福祉活動推進員を設置し、地域福祉活動を推進します。
2	民生委員・児童委員(協議会)との協働活動の推進	全区	会 費 寄附金	323	民生委員・児童委員(協議会)と地域福祉推進のため連携し、調査活動等を協働で行います。
3	第9回奥州市 社会福祉大会 の開催	全区	共 募 配 分 金	837	社会福祉功労者表彰、講演、研究討議等を実施し、福祉活動への共通認識と理解を深め福祉意識の醸成を図ります。
4	広報活動の推 進	全区	共 募 配 分 金 広告料	2,682	社会福祉協議会広報紙「おうしゅう福祉だより」を発行し、福祉活動の啓発を図り、市民の参加を促進します。 * 市内全世帯45,000部発行／年間6回奇数月 * 支所福祉だよりの発行 * ホームページを開設し、幅広い情報の提供 * メールマガジンの発刊／毎月 * ツイッターでの情報提供／随時
5	地域福祉活動 計画の推進	全区	-	-	平成 21 年度に作成した地域福祉活動計画(期間 22 年度から 27 年度)の執行管理と地域福祉活動の推進について、奥州市地域福祉計画と連携を図りながら進めていきます。 * 最終年度 27 年度までの総評価と 28 年度からの第 2 次計画の作成に向けて、今後の社協の長期的運営指針と併せて社協事業を検討・見直ししていきます。

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
6	奥州福祉推進 市民会議の推 進	全区	共 募 配 分 金	202	市民及び町内会等の自治組織やボランティア団体等、福祉分野の枠組みを超えた団体や機関が一体となって、地域の福祉課題の確認や奥州市地域福祉活動計画の進捗状況のモニタリングを行います。
7	住民支えあい 推進事業 ①小地域福祉 ネットワーク 推進事業 ②要援護者台 帳整備、緊急 連絡カードの 配備 ③ふれあい いきいきサロ ン事業 ④小地域にお ける福祉活動 助成 ⑤たすけあい 行動プラン策 定事業 ⑥住民支え愛 マップ事業	全区	会 費 寄附金 受託金 共 募 配 分 金	20,489	<p>地域の中で支援を必要としている人に対して、近隣の市民の方々やボランティアとともに、自分の住む地域の中で安心して暮らすことのできるような取り組みを、個別支援活動とグループ支援活動として進めていきます。そのため、地域福祉活動を推進している団体に助成金を交付し、積極的な推進を図ります。</p> <p>① 小地域福祉ネットワーク推進事業(個別支援活動) * 地域の要援護者に対する見守りや安否確認、訪問活動等を展開し、市民相互の支援活動の実施</p> <p>② 要援護者台帳等整備、緊急連絡カードの配備(個別支援活動) * 民生児童委員協議会や福祉活動推進員等が連携し、要援護世帯の安否確認と生活支援に必要な情報の整備を行い、緊急時における支援体制の構築を図る。併せて必要に応じて緊急連絡カードを作成し、要援護世帯への配備を促進。</p> <p>③ ふれあいいきいきサロン(グループ支援活動) * 地域住民が分館や集会所を会場にお茶飲み会や交流などを行い、世代を超えた交流の場の開設の支援</p> <p>④ 小地域における福祉活動助成 * 地域福祉活動を推進する団体に、ネットワーク活動及びふれあいいきいきサロン活動の取り組みに対する助成金を交付</p> <p>⑤ たすけあい行動プラン策定事業 * 災害時要援護者避難支援計画の個別計画に基づき、災害時には要援護者の迅速な安否確認と支援を行うことを目的に台帳整備を行います。</p> <p>⑥ 住民支え愛マップ事業 * 小地域での生活上の課題を掘り起し、地域の要援護者への今後の関わり方や地域の生活課題の解決策などを探るひとつの手法として実施し、地域の支え合いの仕組みづくりを構築します。</p>
8	歳末たすけあ い運動配分事 業 (在宅激励金) (地域福祉活 動配分)	全区	共 募 配 分 金	15,202	<p>歳末たすけあい運動の激励金をお届けし、地域全体で激励活動を展開します。また、各種の地域福祉活動の助成を行います。</p> <p>* 身よりのない高齢者、介護を必要とする者、母子・父子世帯、災害被災世帯等</p> <p>* ふれあいいきいきサロン事業、福祉団体・福祉施設等の歳末活動事業</p>
9	安心生活基盤 構築事業	全区	受託金	22,085	<p>地域において、基盤支援(見守りや買い物支援)を必要とする方々を把握するとともに、その方々の日常の困りごとを適切に把握し、地域で支援できる体制づくりの構築に取り組みます。</p> <p>① 抜け漏れのない実態把握事業 * 関係機関・団体と連携し、訪問調査活動に取り組み、併せて市内 30 地区で住民懇談会を開催しニーズを把握</p>

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
					② 生活課題の検討・調整 * 地域福祉コーディネーターによる連絡会議を毎月開催するほか、関係機関等を交えて年2回ケース検討会・調整会議を開催 ③ 抜け漏れのない支援の実施 * ご近所福祉スタッフによる見守り活動の推進とボランティア協力店の普及促進による買い物基盤支援 ④ 地域支援活性化事業(住民参加型在宅福祉サービス「ささえあいの会」) * 家事援助や生活援助を登録会員が有償でお手伝いする取り組みを強化し、要支援者へのサポートを強化。具体的な活動は、調理／洗濯／掃除／買い物／軽易な身の回りの世話／外出介助及び付添い／話し相手など ⑤ 住民参加型まちづくり普及啓発事業 * 研修会、講演会の開催 ⑥ 自主財源確保事業 * ふるさと応援協賛会員制度の創設等自主財源の確保のための取り組み ⑦ 権利擁護推進センター等事業 * 法人後見の実施に向けた取り組みと、市民後見人養成研修を開催し、登録制度による権利擁護の実施 * 介護職員初任者研修を開催し、福祉人材の育成
10	ふれあい昼食サービス事業	全区	会費 共募配分 金	570	ボランティアと協働でひとり暮らし高齢者への会食による昼食サービスを行うことで社会参加の促進を図ります。
11	金婚を祝う会開催事業	全区	参加費 共募配分 金	3,114	結婚50周年の方々が一室に参集して、互いに歩んだ道のりを祝福し、今後も健康で生きがいをもち続け、地域の中で活躍されることを願って開催します。
12	敬老会開催事業	水沢 ・ 江刺	補助金 共募配分 金	12,504	地域と協働で、敬老精神によるお祝い会を行います。また、地域で開催する敬老会には要請に応じ支援を行います。 * 敬老会開催・交流・社会参加促進等
13	地域ニーズ対応事業	水沢	会 費 寄附金	310	地域でのひとり暮らし高齢者のつどいなど地域特性を生かしたニーズに対応する事業を展開します。 * 地域での介護者リフレッシュ事業、ふれあい世代間交流の場設置事業など
14	高齢者いきいき事業	水沢	参加費 共募配分 金	313	元気な高齢者を対象として社会参加の機会提供と生きがいづくりのため、なんでもやろう会、思い出パートナー(回想法)などの事業を開催します。
15	地域・世代間交流事業	水沢	共同募金 配分金	325	地域において、行事等を通して子どもから高齢者までの交流を図り、子どもを育み、高齢者の生きがいづくりなどを行います。
16	還暦者のつどい開催事業	江刺	-	-	60歳を契機とし、区内在住の同世代の方々が一室に会し、相互に交流と連帯を深め、併せて自らの健康保持、趣味拡大、生きがいのある人生を創造していくために開催の支援をします。 * 還暦の集い式典・記念講演・交流・社会参加促進研修

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
17	おげんきみまもりシステム	江刺	共募配分金	70	ひとり暮らし高齢者宅の電話を用いて健康状態を発信する「いわて“おげんき”みまもりシステム」を活用して、近隣では見守りが困難な世帯の安否確認を行います。 * 江刺区の要援護者を対象に、岩手県社会福祉協議会のICT(情報通信技術)のシステムを用いて毎日の安否確認をします。 緊急時や必要な生活支援に対応できる地域のささえあい活動につながっていきます。
18	障がい者の日記念「ふれあい演芸会」事業	江刺	-	-	ふれあい演芸会を開催し、障がい者や家族、市民との交流の場を設けます。
19	子どもの遊び場点検・整備事業	前沢	共募配分金	125	共同募金配分により整備した遊び場の遊具を点検し、子どもの遊び場の安全確保を図ります。
20	生活支援相談員設置事業	全区	受託金	9,865	東日本大震災に伴い、奥州市内で生活する被災世帯に対し、生活復興に必要な支援、相談、見守り体制を構築し、必要な生活ニーズを把握するとともに、関係機関と連携し、被災世帯の復興を図ります。

4 ボランティア活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
1	ボランティアセンターの運営	全区	参加費 共募配分金	3,657	ボランティア情報の提供や活動拠点としてのボランティアルームの開設、ボランティア登録事業などを通じて、ボランティア活動の啓発と活性化を推進します。また、ボランティア団体の支援を行います。 ① 講座研修会の開催 * ボランティア研修／福祉教育推進セミナー／暮らし支えるボランティアの集い／ふくし出前講座など ② 調査研究・情報提供 * 奥州・ゆいっこ人材名鑑の発刊／民間活動資金の紹介／ボランティア情報の発行 ③ 相談・援助／コーディネート * ボランティア登録制度の推進／ボランティア保険等の加入促進／各ボランティア団体の活動支援など ④ 福祉教育の推進 * 市内の小・中・高校等をボランティア協力校に指定し助成／ワークキャンプ事業による福祉活動体験 地域の特徴的活動等 テクノボランティア活動／車いすフレンズ・書き損じはがき活用事業／高齢者宅等電気設備点検活動／ひざかけプレゼント行動／握手の日・ボランティア週間／ヒロノ福祉パーク祭・夢灯りin 江刺／ボランティア協力店／スターキッズ大作戦／ジュニアスターサマーボランティア／それ行けサンタ大作戦・ハッピーサンタ大作戦・ハローサンタ大作戦など地域特性を生かしたボランティア活動を推進します。

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
2	復興ボランティア派遣支援事業	全区	受託金	5,239	東日本大震災による被災地へ登録型の奥州市沿岸支援隊(奥沿隊)を4～5名のグループで派遣支援を継続するほか、地域団体や地区住民の被災地でのボランティア活動が円滑にできるようコーディネートと支援等を行います。
3	除雪支援活動	全区	-	-	高齢者・障がい者等を対象とした冬期間の除雪ボランティア(スノーバスターズ)による生活支援ネットワークを推進します。
4	ボランティアの集い、福祉まつりの開催	全区	共募配分金	471	心のふれあいと安らぎある福祉地域づくりを目指し、支えあい活動の輪が広がるよう市民みんなの出会いの場、福祉活動成果の発表の場として開催します。
5	収集ボランティア運動	前沢	共募配分金	120	実行委員会を組織しペットボトルキャップの収集リサイクル支援の運動を展開します。

5 福祉サービス利用支援事業

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
1	日常生活自立支援事業	全区	受託金 利用料	10,383	障がいや高齢により判断能力が十分でない方などが、安心した生活を送ることができるよう、福祉サービス利用のための相談や支援を行います。 * 福祉サービス利用支援/日常的金銭管理サービス/通帳書類等預かりサービス/相談・訪問活動 * 生活支援員 20 人、専門員2人
2	生活福祉資金貸付事業	全区	受託金	7,737	岩手県社会福祉協議会からの受託で、要支援者を対象に、生活福祉資金の貸付による更生援助を図ります。 * 目的資金の貸付受付及び進達/世帯の自立支援/実態把握/償還指導
3	たすけあい資金事業	全区	会 費 寄附金	3,120	生計維持困難な支援者を対象に、たすけあい資金の貸付による更生援助を支援します。 * 小口の生活福祉資金貸付と生活支援 * 貸付金5万円まで/無利子
4	まちかど相談員(心配ごと相談員)設置事業	全区	会 費 受託金	1,348	市民のためのよろず相談窓口を設置し、悩みごと、困りごとの解決援助を行います。 * 定例相談所の開設/常時相談・一般相談/ケース研究会開催 水沢/毎週金曜日/奥州市総合福祉センター 江刺/毎週月曜日/江刺総合コミュニティセンター 前沢/毎週火曜日/前沢健康管理総合センター 胆沢/毎週木曜日/胆沢総合福祉センター 衣川/毎月1回 /衣川保健福祉センター
5	ファミリーサポートセンター事業	全区	受託金	9,222	育児の支援を受けたい人と、支援を行える人が会員登録をし、安心して働くことができる育児の相互援助を行います。
6	福祉団体支援事業	全区	-	-	各種団体機関との連携協働・、活動支援をします。
7	福祉バス運行事業	全区	受託金	7,217	地域福祉事業の活性化と福祉団体等活動支援のため福祉バスを運行します。

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
8	障がい者等地域生活支援事業 ①自発的活動支援事業 ②手話奉仕員養成研修事業 ③移動支援事業 ④日常生活支援事業 ⑤社会参加支援事業	水沢	受託金 参加費	2,416	① 障がい者が集う空間づくりを目的とする生活支援事業(パソコン教室、きこへのサポート教室など)に取り組みます。また、にじの会と協働でゆったりサロンを開催します。 ② 聴覚障がい者の日常生活上の基本的なコミュニケーションの支援と交流を図るため、聴覚障がい者等の知識と日常会話に必要な手話表現技術等の習得者を養成します。 ③ 屋外での移動に困難がある障がい者・児について、外出のための車両移送による移動支援を行い、地域での自立生活と社会参加を促します。 ④ 生活訓練等を目的とする事業(料理教室など)を行い、地域での自立生活を促します。 ⑤ 障がい者を対象とするスポーツ事業などを行います。また、障がいを持った人の地域生活をサポートをするボランティア養成研修・コミュニケーション事業を行います。 * ボウリング教室、ニュースポーツ教室、スポーツ交流会、絵手紙体験教室 * 点訳講座、朗読講座
9	地域活動支援センター事業 (障がい者デイサービス)	水沢	受託金 利用料	3,433	障がい者のためのデイサービス事業を行います。 * カラオケ、手芸、ヨガなどによる機能維持活動、創作活動 * 週5日(月～金)／定員1日10人
10	胆江地区広域交流センターの管理事業	水沢	受託金 利用料	15,177	佐倉河仙人地内のごみ焼却熱利用の入浴施設、温水プール、体育施設等の保養所「胆江地区広域交流センター」の管理運営をします。 * 大人300円／子ども100円／障がい者割引有 月曜休館
11	外出支援サービス事業 (福祉有償輸送許可事業)	前沢 ・ 胆沢 ・ 衣川	受託金 利用料	5,476	高齢者・障がい者等を対象に、ボランティアによるリフト付き車両の運行を行い、通院・公共施設への外出支援を進めます。
12	屋内ゲートボール場の設置経営(すば一く胆沢)	胆沢	補助金 利用料	1,631	ゲートボールに親しむことで生涯スポーツの振興を図り、生きがいづくり、仲間づくり、そして子どもから高齢者のふれあいの場として屋内ゲートボール場を設置経営します。

6 介護保険事業の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
1	居宅介護支援事業	全区	居宅介護 支援介護 料 受託金	25,036	介護保険の認定を受けた方のケアプラン作成を行い、介護保険制度を円滑に利用できるようお手伝いを行います。
2	通所介護事業	全区	居宅介護 料 利用料	81,136	介護保険の認定を受けた方に対して、デイサービス事業(通所介護事業)を行います。 * デイサービスだいの園 /定員1日18人 * 胆沢デイサービスセンター /定員1日30人

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
3	訪問介護事業 ヘルパーサ ービス「げん き」	全区	居宅介護 料 自立支援 費 受託金	113,398	介護保険の認定を受けた方、障がい者、要介護認定で自立となった高齢者の在宅生活の家事支援や身体の介護を行います。
4	訪問入浴介護 事業 入浴サービス 「ほっと」	全区	居宅介護 料 受託金	13,284	介護保険の認定を受けた高齢者、障がいにより家庭での入浴が困難な方々のために訪問入浴車による入浴の援助を行います。
5	小規模多機能 型居宅「あす も」の経営	前沢	居宅介護 料 利用料	47,103	利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の中で日常生活上の支援や機能訓練を行います。／定員24人
6	いさわ高齢者 複合施設「じ ゅあんの園」 の経営	胆沢	居宅介護 料 利用料 事業外収 入	89,592	認知症対応型グループホームと認知症対応型デイサービスセンターの複合型施設の経営を行います。 * グループホームじゅあんの園 /定員18人 * デイサービスセンターじゅあんの園 /定員12人

7 介護予防活動の推進

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
1	地域包括支援 センターブラ ンチ型運営事 業	水沢	受託金 会 費 寄附金	4,663	高齢者や介護家族等の相談に応じ、介護保険給付該当外の方が安心して地域生活を継続できるように関係機関と連携しながら支援します。また、在宅高齢者宅を訪問し日常生活や体調について調査活動を行います。
2	生きがい対応 型デイサービ ス事業	水沢 ・ 胆沢	受託金 利用料	17,989	要介護認定で自立となった高齢者に対し介護予防のデイサービスを開設し、社会参加活動と交流活動の促進、身体機能の維持に努めます。 * 軽運動／レクリエーション／外出活動／交流活動
3	食の自立支援 事業	水沢 ・ 江刺 ・ 胆沢 ・ 衣川	受託金 利用料	12,211	ひとり暮らし高齢者等に安否確認をしながらボランティアが昼食を届けます。 * 水沢 週5日(月～金) 1食500円 * 江刺 週3日(火～木) 1食500円 * 胆沢 週1日(金曜日) 1食300円 * 衣川 週5日(月～金) 1食300円
4	江刺高齢者生 産活動センタ ーの経営	江刺	受託金	8,411	活動者の経験や技術、趣味を生かした創作活動の場として、また、生きがい対策の場として運営します。 * 生産活動の場の提供／創作活動の場の提供／販路の拡大
5	大岳高齢者生 きがいセンタ ーの経営	江刺	受託金	9,737	高齢者の心身のリフレッシュ、生きがい活動、入浴等のサービス提供を行い、社会的交流、心身機能の向上及び日常生活自立の助長を図ります。 * 送迎／健康相談／日常動作訓練／趣味・教養・創作活動／入浴サービス／相互交流 * 週5日(月～金) デイサービス3日・いきがい講座2日

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
6	高齢者地域活動推進事業	江刺 ・ 前沢 ・ 胆沢	受託金 共募配分 金	4,467	「いきいき講座・同好会」、「趣味・創作活動」、「べんてん広場」、「みんなのたまり場」として、概ね60歳以上を対象に趣味・教養・創作講座を開設し、生きがいづくりと自立の支援、社会参加促進を進めます。

8 保育所、児童センター等の経営

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
1	米里保育所の経営	江刺	補助金 運営費	34,758	保護者の仕事の都合などにより、家庭でお子さんの保育ができない方の為に代わって保育をします。保育所保育指針に従って日々安全に配慮しながら、心身共に健やかな成長と基本的な生活習慣の自立を援助します。 * 定員45人 * 乳幼児保育／障がい児保育／一時的保育／子育て支援
2	児童厚生施設(児童センター)の経営	水沢 ・ 江刺	指定管理 料 利用料	107,163	就労等により保護者が日中家庭にいない児童に対し、下校後及び長期休業日、土曜日に適切な遊びや生活の場を提供し健全育成活動に努めます。また、小学校や地域と連携し、地域における児童の総合支援を行います。 * 水沢区内8小学校区単位・8館／定員545人 * 江刺愛宕小学校区・1館／定員60人
3	放課後児童健全育成事業(児童クラブ事業)	水沢 ・ 江刺 ・ 衣川	受託金 利用料	34,253	就労等により保護者が日中家庭にいない小学校低学年を対象として、放課後児童クラブという名称で、児童の保育サービスを提供します。 * 水沢2カ所、江刺1カ所、衣川2カ所

9 収益事業

No.	事 項	区分	主な財源	事業支出額 (千円)	内 容
1	前沢区民バス運行事業	前沢	補助金 利用料	19,813	高齢者などの交通弱者を含めた前沢区内の利用希望者を対象として、ドア・ツー・ドアの交通手段を確保し、外出しやすい環境を整備し、日常生活の利便性を図ります。 * 前沢区内のみ 大人1回300円、小学生1回150円、乳幼児無料(障がい手帳所持者は半額)
2	販売機の設置事業	水沢 ・ 江刺	手数料収 入	208	自動販売機の売上手数料の利益を福祉活動に役立てます。 * 福祉センター・交流センター・江刺コミュニティセンターに設置